

人事行政の運営等の状況

東みよし町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例（平成21年条例第2号）に基づき、平成22年度の状況を公表します。

1. 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員採用の状況（H22. 4. 1～H23. 3. 31）

職種		人数
一般行政職	事務職	0
	技術職	0
技能労務職		0
計		0

(2) 退職の状況（H22. 4. 1～H23. 3. 31）

職種	区分	定年退職	勸奨退職	その他				
				普通退職	分限免職	懲戒免職	失職	死亡退職
一般行政職		4	1	0	0	0	0	0
技能労務職		2	0	0	0	0	0	0
計		6	1	0	0	0	0	0

(3) 職員数に関する状況（各年4月1日現在）

部門	区分	職員数		
		平成21年	平成22年	対前年増減数
一般行政	議会	2	2	0
	総務	44	42	△ 2
	税務	11	11	0
	農林水産	13	11	△ 2
	商工	5	5	0
	土木	8	7	△ 1
	民生	41	41	0
	衛生	17	14	△ 3
	計	141	133	△ 8
教 育		33	32	△ 1
普通会計 計		174	165	△ 9
公営企業等	水道事業	5	5	0
	下水道事業	3	3	0
	その他	8	9	1
	計	16	17	1
合計		190	182	△ 8

(4) 年齢別職員数の状況

区分	20歳 未満	20歳 ～ 23歳	24歳 ～ 27歳	28歳 ～ 31歳	32歳 ～ 35歳	36歳 ～ 39歳	40歳 ～ 43歳	44歳 ～ 47歳	48歳 ～ 51歳	52歳 ～ 55歳	56歳 ～ 59歳	60歳 以上	計
職員数	0	0	3	11	17	15	14	14	26	50	32	0	182

2. 職員の給与の状況

東みよし町では、平成19年4月から平成21年12月の間、町長・副町長・教育長及び職員の給料及び管理職手当の削減を行いました。

給与についての詳細は、「平成22年給与・定員管理」にて公表しています。

(1) 人件費の状況（普通会計分 決算）

区 分	人口(人)	歳出総額A(千円)	人件費B(千円)	人件費率B/A(%)
平成22年度	15,646	9,534,803	1,542,031	16.2

注) 1 「人件費」には特別職に支給される給与・報酬などを含みます。

2 人口は、平成23年3月31日現在です。

(2) 職員給与費の状況（普通会計予算）

区 分	職員数A (人)	給与費(千円)			1人当たり給与費 B/A(千円)
		給料	諸手当	計B	
平成22年度	165	702,766	302,488	1,005,254	6.092

注) 1 諸手当に退職手当は含みません。

2 給与費は当初予算額です。

(3) 職員手当の状況（平成22年4月1日現在）

区分	支給金額等			
期末手当 勤勉手当	支給月	期末手当	勤勉手当	合計
	6月	1. 25月分	0. 70月分	1. 95月
	12月	1. 5月分	0. 70月分	2. 20月
退職手当	勤務年数	自己都合	勸奨・定年退職	
	20年	23. 50月分	30. 55月分	
	25年	33. 50月分	41. 34月分	
	35年	47. 50月分	59. 28月分	
	最高限度	59. 28月分	59. 28月分	
扶養手当	配偶者		月額	13,000円
	扶養親族1人につき		月額	6,500円
	特定期間の扶養親族たる子1人につき		月額	5,000円
住居手当	持家	月額	3,500円	
	借家	月額	27,000円を限度に支給	
通勤手当	通勤距離が片道2km以上の場合に限る			
	・自家用車等を使用の場合 距離に応じ2,000円～20,900円			
	・公共交通機関等を利用の場合 最高50,000円			
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員に支給 定額16,000円～60,000円			
特殊勤務手当	著しく危険、不快、不健康又は困難な勤務その他特殊な勤務の場合に支給 死獣処理手当 1回につき1,000円			

(4) 職員の平均給料月額及び平均年齢の状況 (平成22年4月1日現在)

区分	平均給料月額 (円)	平均給与月額 (円)	平均年齢 (歳)
一般行政職	349,100	397,685	45.9
教育職	377,900	386,413	48.3
技能労務職	327,000	342,986	52.2

(5) 職員の初任給の状況 (平成22年4月1日現在)

区分	初任給 (円)	
一般行政職	高校卒	140,100
	短大卒	152,800
	大学卒	172,200

(6) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況 (平成22年4月1日現在)

区分		経験年数7年以上10年未満	経験年数10年以上15年未満	経験年数15年以上20年未満
一般行政職	高校卒	201,800	231,200	262,000
	大学卒	230,600	271,400	312,700

(7) 特別職の報酬等の状況 (平成22年4月1日現在)

区分	給料・報酬月額 (円)	期末手当の支給割合	
町長	743,000	6月期 1.45月 12月期 1.65月 計 3.10月	
副町長	595,000		
教育長	550,000		
議長	277,000		
副議長	233,000		
議員	195,000		

3. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 職員の勤務時間 (標準的なもの)

1週間の勤務時間	始業時間	終業時間	休憩時間	週休日
38時間45分	8:30	17:15	12:00~13:00	土曜日及び日曜日

(2) 休暇等

区分	内容	
年次有給休暇	・1暦年ごとに20日とし、20日を超えない範囲内の残日数を繰り越すことができる。	
病気休暇	・負傷又は疾病のため療養を要する場合、必要と認められる期間(180日を超えることはできない) 本年度取得者9名(5日を超える診断書を有する者)	
主な特別休暇	結婚休暇	・その都度必要と認める期間。ただし、7日を超えることはできない。
	出産休暇	・出産予定日前6週間(多胎妊娠の場合にあっては14週間)目に当たる日から分べんの日後10週間目に当たる日までの期間において、あらかじめ必要と認める期間
	子の看護休暇	・1年において5日(その養育する中学校就学の始期に達するまでの子が2人以上の場合にあっては、10日)の範囲内の日又は時間
	忌引休暇	・死亡者との続柄に応じ、1日~10日の範囲内
	夏期休暇	・7月1日~9月30日までの期間内で5日以内。その単位は1日とする。
	リフレッシュ休暇	・5年ごとに連続する3日又は5日
	ボランティア休暇	・1の年において5日の範囲内の期間
介護休暇	・配偶者、父母、子、配偶者の父母等で、負傷、疾病又は老齢により日常生活を営むのに支障があるものの介護をするため、連続する2週間以上6月の期間内で必要と認められる期間(無給) 本年度取得者1名	

組合休暇	・職員が登録された職員団体の業務又は活動に従事するための休暇1年につき30日を超えない範囲内でその都度必要と認める期間(無給) 本年度取得者なし
無給休暇	・私事の故障その他公務につけない特別の理由がある場合で、任命権者が必要と認めた期間(1日又は半日を単位とする。)(無給) 本年度取得者1名
育児休業	・3歳未満の子を養育する職員が、子が3歳に達する日までの期間(無給) 本年度新規取得者3名

4. 職員の分限及び懲戒処分の状況

(1) 職員の分限処分の状況について

公務能率の維持向上のため、職員が一定の事由によってその職務が果たすことができない場合などに、本人の意に反してなされる不利益処分であり、その種類は降任、免職及び休職があります。

降任	なし	
免職	なし	
休職	1名	心身の故障による

(2) 職員の懲戒処分の状況について

職員の義務違反に対し、地方公共団体の規律と公務執行の秩序を維持する目的で、一定の義務違反に対して職員にその道義的責任を負わせる不利益処分であり、その種類は、免職、停職、減給、戒告があります。

免職	なし
停職	なし
減給	なし
戒告	なし

5. 職員のサービスの状況

地方公務員法第30条では、全ての職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、職務遂行にあたっては全力でこれに専念しなければならないとされています。このサービスの基本原則を忠実に実行するため、職員には命令に従う・秘密を守る義務や信用失墜行為・争議行為の禁止、営利企業等の従事、政治行為の制限などが課せられています。

6. 職員の研修及び勤務成績の評定の状況

(1) 平成22年度職員研修実績(延べ人数)

研修主体	研修内容	参加人数
徳島県自治研修センター	階層別研修	23人
	能力開発・向上研修	25人
町	人権研修会	70人
	普通救命講習Ⅱ	17人
町外	各専門研修等	388人

(2) 勤務成績の評定の状況

現在のところ実施していない。

7. 職員の福祉及び利益の保護の状況

(1) 地方公共団体は、職員の保護、元気回復、その他厚生に関する計画を立て実施することが義務づけられています。現在本町職員はその勤務地により、徳島県市町村職員共済組合及び徳島県市町村職員互助会、又は公立学校共済組合及び徳島県教職員互助組合に加入しています。

加入団体	事業内容
徳島県市町村職員共済組合	<ul style="list-style-type: none"> ○短期給付・・・病気やケガ(公務外)、出産、死亡、休業、災害時等の給付 <ul style="list-style-type: none"> ・保健給付・・・療養給付・高額療養費・出産費等 ・休業給付・・・傷病手当金・育児休業手当金・介護休業手当金等 ・災害給付・・・弔慰金・災害見舞金等 ○長期給付・・・退職、生涯又は死亡に対する給付 <ul style="list-style-type: none"> ・退職共済年金・・・組合員期間や一定の条件を満たすことにより、65歳から支給(特例で年齢により65歳未満で支給あり) ・障害共済年金・・・組合員が在職中に病気やケガで障害が残る状況になったときに支給 ・遺族共済年金・・・組合員又は組合員であった者が死亡したときに遺族に支給 ○福祉事業・・・保健、貯金、貸付などの各事業 <ul style="list-style-type: none"> ・保健事業・・・人間ドック助成、特定健診・特定保健指導等 ・貯金事業・・・定期預金及び定期積立 ・貸付事業・・・普通貸付、住宅貸付、入学・修学貸付等 ・物資事業・・・各種保険制度等
徳島県市町村職員互助会	<ul style="list-style-type: none"> ○給付事業・・・医療費、出産祝金、死亡弔慰金、休業給付等 ○厚生事業・・・保養施設利用助成、各教室開設等
公立学校共済組合	<ul style="list-style-type: none"> ○短期給付・・・病気やケガ(公務外)、出産、死亡、休業、災害時等の給付 <ul style="list-style-type: none"> ・保健給付・・・療養給付・高額療養費・出産費等 ・休業給付・・・傷病手当金・育児休業手当金・介護休業手当金等 ・災害給付・・・弔慰金・災害見舞金等 ○長期給付・・・退職、生涯又は死亡に対する給付 <ul style="list-style-type: none"> ・退職共済年金・・・組合員期間や一定の条件を満たすことにより、65歳から支給(特例で年齢により65歳未満で支給あり) ・障害共済年金・・・組合員が在職中に病気やケガで障害が残る状況になったときに支給 ・遺族共済年金・・・組合員又は組合員であった者が死亡したとき遺族に支給 ○福祉事業・・・保健、貯金、貸付などの各事業 <ul style="list-style-type: none"> ・保健事業・・・人間ドック助成、特定健診・特定保健指導等 ・貸付事業・・・普通貸付、住宅貸付、入学・修学貸付等 ・住宅事業・・・教員住宅事業 ・宿泊事業・・・組合員の保健、保養又は教養のための宿泊施設を営し組合員の福祉の向上と健康の増進を図る ・医療事業・・・直営病院の経営事業
徳島県教職員互助組合	<ul style="list-style-type: none"> ○給付事業・・・医療費、出産祝金、死亡弔慰金、休業給付等 ○厚生事業・・・保養施設利用助成、各教室開設等 ○貸付事業・・・一般貸付、住宅貸付、医療貸付
町	○職員の保健等に関すること・・・健康診断・人間ドック助成金

○上記徳島県市町村職員互助会が実施した事業のうち公費支出を伴う事業

事業名	給付単価	件数	実績額
育児休業給付金	給料月額による	11	264,095
夏期保養所利用助成		7	131,207
合計		18	395,302

※本年度見直した事業はありません。

○互助会加入人数及び公費補助額 (単位:人、千円、%)

互助会名	加入人数	公費補助額	公費補助率	1人当たり公費負担額
徳島県市町村職員互助会	177	2,261	50%	12.8
徳島県教職員互助組合	8	0	0%	0

(2) 健康診断の実施状況（平成22年度）

東みよし町では、事業所として職員健康診断を行っていますが、各共済組合主催の人間ドックを受診した人は、職員健康診断を受診したものとしています。（受診率93.4%）

健康診断の種類		受診者数	町負担金額(千円)
職員健康診断		45	787
人間ドック	1泊2日ドック	46	460
	日帰りドック	65	644
	脳ドック	13	130
	合計	124	1,234
総合計		169	2,021

(3) 公務災害の発生状況（平成22年度）

種類	発生件数	事案の概要
公務災害	2	業務中のけが
通勤災害	0	

(4) 利益の保護状況（平成22年度）

内容	有無
職員の給与、勤務時間、その他の勤務条件に関する措置の請求	無
職員に対する不利益な処分についての不服申し立て	無